

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回弘前城跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	平成27年 3月27日 (金)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時00分 から 14時30分まで
開 催 場 所	弘前市立観光館1階 多目的ホール
議 長 等 の 氏 名	長谷川成一 (弘前大学名誉教授)
出 席 者	清藤哲夫、関根達人、田中哲雄、福井敏隆、麓和善
欠 席 者	千田嘉博
事 務 局 職 員 の 名 氏	(弘前市都市環境部) 都市環境部長・川村一也、公園緑地課長兼弘前城整備活用推進室長・古川勝、同課長補佐・小嶋修造、弘前城整備活用推進室主幹・石川竜明、同室主査・岡本康嗣、同室主査・横山幸男、同室主事・今野沙貴子 (記録) (弘前市教育委員会) 教育部長・柴田幸博、文化財課長・三上敏彦、同課長補佐・斎藤弘之、同課文化財保護係長・鶴巻秀樹、同係主査・小石川透、同課埋蔵文化財係長・岩井浩介、同係主事・工藤麻衣、同係主事・東海林心、同係主事・吹田昂平、同係主事・福原健
会 議 の 議 題	①委員の追加について ②ガイダンス施設 (二の丸利活用施設) について
会 議 結 果	① 今後予定されている史跡内の重要文化財建造物保存修理に備え、文化財建造物を専門とする麓和善名古屋工業大学大学院教授を委員として迎えたい旨を委員会に諮り、了承を得た。 ② 文化2年(1805)「御城郭分間真図」をベースとして二の丸整備を進める方針に異論はないが、用語の整理や遺構の整備、ガイダンス施設の外観・内容については、さらに細やかな検討が必要である。
会 議 資 料 の 名 称	① 二の丸利活用施設整備計画 ② 弘前城二の丸利活用施設基本設計業務 ③ 参考絵図 ④ 展示計画 ⑤ 発掘調査要項

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<p>① 委員の追加について</p> <p>(事務局) 今後予定されている史跡内の重要文化財保存修理に備え、文化財建造物の専門家を整備指導委員会に加えるよう、文化庁より指導があった。今回より、名古屋工業大学大学院教授・麓和善先生を新たな委員として迎えたい。</p> <p>(委員会) 異議なし。</p> <p>② ガイダンス施設について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁より、二の丸整備においては馬場跡と御宝蔵跡を一体で整備するよう指導を受けた。これらの遺構をおさえることが、二の丸にガイダンス施設を設置する意義につながる。ガイダンス施設での展示についても、二の丸を盛り込んだ内容にするよう指導があった。 ・二の丸整備は、文化2年(1805)「御城郭分間真図」をベースとして進める。 ・馬場の土塁を復元する方針で整備を進める。発掘調査の成果を踏まえつつ、市内・県外に現存する近世の馬場跡を参考にしたい。 ・ガイダンス施設の外観については、実施設計段階でさらに検討する予定。 ・ガイダンス施設整備に関わる発掘調査を、平成27年度に実施する。 <p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二の丸整備のベースとなる文化2年(1805)「御城郭分間真図」の原本は、現在所在不明である。探す努力をしてほしい。 ・二の丸馬場には「御高覧所」という施設がある。その一方で、9代藩主寧親が二の丸辰巳櫓から八幡宮の山車を高覧したという記録が残っており、そういう意味では辰巳櫓にも「御高覧所」の機能がある。整備においては、辰巳櫓と馬場の「御高覧所」を混同しないよう、用語の整理が必要。 ・城道をどのように整備するのか、検討すること。 ・近代以降、公園として利用された城跡という視点も、ガイダンス施設での展示に加えてほしい。 ・大きな施設となるので、雨水対策の排水路整備も検討すること。
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開、非公開…非公開 ・委託業者…(有)アトリエタアク 3名